

事業所名		LSJ KUMAMOTO SI		支援プログラム（児童発達支援）		作成日		2025 年		2 月		1 日	
企業理念		「夢現力」 こども達一人ひとりの強みを見い出し、夢を実現する力を育て、関わる全ての人の幸せを追求します。 Always smiling											
支援方針		楽しく伸び伸びとスタッフやお友達と関わる中で、成就感(やった！)や達成感(できた！)をたくさん感じてもらえるよう支援していきます。											
営業時間		8 時		30 分から		18 時		30 分まで		送迎実施の有無		ありなし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	● 検温や観察を行い、健康状態を把握する。 ● モデルを示したり、手順書を用いるなどして、基本的な生活スキル（排泄・食事・更衣・整容など）の獲得を促す。 ● 鉛筆・ハサミ・消しゴム・箸・ボタンなどの道具の操作の仕方を教示し、お子さんの力に合わせた道具の検討を行う。 ● 活動の中で、自分で選択する機会を作ったり、スケジュールを見て行動する力を身につけられるよう支援する。											
	運動・感覚	● 遊具等を使った運動遊びを通して、姿勢保持の力や移動能力の向上、運動・動作技能の向上を図る。 ● 力加減を調整することで成功する遊びや視覚的に変化を確認できる素材を用いた制作活動を行う過程で、力加減を調整する力を身につけられるよう支援する。 ● 活動の準備や、上る・押す・引くなどの体に力を入れる遊び、空間に合わせて姿勢を調整する遊びを多く取り入れ、身体のイメージを育てられるよう支援する。 ● 両手を一緒に使う動作や左右の手の役割が異なる遊びを取り入れて、両側統合を促す。 ● 静と動の動きを組み合わせたり、バランスを取るなど調整を必要とする課題を取り入れ、脳の抑制機能を高める。 ● ボールや風船をつかった遊びや探索ゲームなどを通して、スムーズな眼球運動ができるよう支援する。 ● 縄跳びや鉄棒、跳び箱など、園などで上手くいかない課題に対して、運動要素を分けながら課題を提示し、成功体験に繋がられるよう支援する。 ● 小麦粉粘土やスライム遊びなど遊びを通して、様々な感覚体験を重ね、触って識別する課題などを通して、敏感さ（触覚）の軽減を図る。 ● おはじき遊びや粘土遊び、新聞紙遊び等を通して、掴む・離す・つまむ・ちぎる・押し入れるなどの動きを引き出し、手指の巧緻性を高める。 ● 安心して活動に参加できるように、環境的配慮を行う。											
	認知・行動	● 遊びなどの体験に加え、絵カード・プリントなどの教材を用いながら、物の機能や属性、形、色、数などの概念形成を促す。 ● くぐる・跳び越えるなど空間に合わせて姿勢を調整する課題や製作活動、ものの整理、ブロック遊び、プリント課題などを通じて、視空間認知面の向上を図る。 ● 日付の確認やカレンダーなどを用いて、時間の概念の形成を図る。 ● こだわりや偏食等を和らげられるように、感覚統合療法を用い、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。											
	言語 コミュニケーション	● 体験やモデル、具体物や写真・絵カードなどの活用をしながら、体験（もの・状況・動き）と言葉の意味を結びつけ、自発的な発声を促す。 ● 遊びを通して、要求を引き出すなど、自分から発信する力に加え、環境（状況）や言葉、文字やイラストといった情報を受け取り、相手の意図を理解する力を育てる。 ● 好きな遊びや感覚を介して、他者への注目や共同注視を促し、コミュニケーションの土台作りを行う。 ● 言葉だけでなく、指差し、身振り、サイン等を活用しながら、お子さんの意思伝達する手段を見つける。 ● 視覚認知機能や眼球運動、上肢操作能力などの評価をもとに、読み書き能力の向上のための支援を行う。 ● 環境理解や意思伝達が円滑にできるようコミュニケーション機器（文字や記号、絵・写真カードを含む）の活用を行う。 ● 口腔の運動機能を高めるなど、構音の発達を促し、明瞭に言葉を発することができるよう支援する。 ● 音韻認識を高め、構音や文字の読み書きの基盤が出来るよう支援する。											
	人間関係 社会性	● 個別療育では、遊びを通して、アタッチメントの形成を促し、安心した自己表現やコミュニケーションが図れるよう支援する。 ● 遊びの中で、モデルとなる行動を示し、模倣を促すことで、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 ● 感覚や運動機能を働かせる遊びからごっこ遊びや見立て遊びなどの象徴遊びへ支援し、社会性の発達を促す。 ● 一人遊びのお子さんに対しては、大人を紹介しながらお友達との関わりを増やし、協同遊びへ繋がるよう支援する。 ● 大人の見守りの中で、様々な体験を行い、自分の出来ることやできないことを知り、気持ちや行動のコントロールができるよう支援する。 ● 集団療育では、集団生活でのルールを学び、遊びなどの活動を通じて、互いの存在を認め合いながら、仲間づくりに繋がるよう支援する。 ● 環境的な配慮を取り入れながら、安心してお友達との遊びや集団活動に参加できるよう支援する。											
家族支援		● 子育て上の課題の聞きとり、支援方法についての相談を行う ● 子どもの発達上の課題について、気づきを促す支援 ● 子どもを支援する輪を広げるための橋渡し ● 相談支援専門員との定期的な連絡や支援会議への参加を行う ● 関係者・関係機関の連携による支援体制作りのお手伝い ● 保護者会を通じて、保護者同士のつながりを作る支援					移行支援		● 幼稚園や保育園など子育て支援機関との連携（支援内容の共有） ● 進学や施設移行に際しては、情報提供書の作成 ● 進路や移行先の選択についての相談援助				
地域支援・地域連携		● 幼稚園・保育園など子育て支援機関との連携 ● 医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携 ● 個別のケース検討のための会議の開催					職員の質の向上		● 外部研修への参加 ● 施設内研修（月一回程度） ● セラピー振り返ってみよう（年一回他者評価）				
主な行事等		● 集団療育では、節分、こどもの日、七夕、水遊び、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなどを実施。											